

年 度 評 価 シ ー ト (令 和 3 年 度)

課名 障害福祉企画課

施設の名称 静岡市桜の園 静岡市桜の園生活訓練ホーム	指定管理者名 社会福祉法人恩賜財団済生会支部 静岡県済生会		
1 履行状況			
業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。			
(1) 維持管理業務			
①健康管理			
<ul style="list-style-type: none"> ・血液検査、尿検査、胸部レントゲン検査等の実施により、利用者の健康管理が適正に行われている。 			
②危機管理、防災対策			
<ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアルに則り、年間を通じて地域等と連携し、計画的に訓練等を実施し利用者の安全確保に努めた。 ・防災訓練（月 1 回）は様々な事態を想定した内容の訓練が行われており、適切な活動となっている。併せて防犯対策についても取り組みいただきたい。 ・防犯カメラの設置を行い、安心できる環境を整えた。 			
③建物・設備等の保守管理業務			
<ul style="list-style-type: none"> ・建物や設備の保守管理は第三者委託により実施し、各業務とも適切に行われている。 ・各種定期点検を実施し、不具合等が確認された場合、速やかに修繕等の措置が取られた。 			
(2) 施設利用者数			
施設種別	定員	1 日平均利用者数 ※（ ）は前年度実績	年間延べ所在者数 ※（ ）は前年度実績
施設入所支援	50	49.3 (49.5) 人	17,969 (18,054) 人
生活介護	50	49.4 (49.5) 人	12,889 (12,913) 人
生活介護（通所）	30	18.1 (17.5) 人	4,340 (4,266) 人
短期入所	5	2.9 (2.6) 人	1,036 (930) 人
日中一時支援	—	0 (0.2) 人	0 (41) 人
施設入所支援、生活介護及び短期入所について、事業計画上の目標（施設入所支援：49.5 人、生活介護：24 人、短期入所 4 人）を達成できなかった。新型コロナウイルスの影響も少なからずあるが、コロナ以外にも要因は考えられるため、利用者数の増加に向け、市と指定管理者で協議をしていく必要がある。			

(3) 事業実施状況

①施設運営関係

- ・新型コロナウイルスの影響により地域におけるイベントが中止となったが、施設では2年ぶり秋桜祭を開催し、地域住民を招待し、施設や利用者との交流を図った。
- ・広報誌を昨年同様3回に発行し、ホームページ及びInstagramの更新を積極的に行い情報発信に努めている。
- ・学校等との連携にとり実習生の受け入れは継続し、人材の確保に努めるとともに、法人や施設の魅力を発信した。
- ・職員研修実施により、専門的知識及び技能の習得、職員の資質向上に努めた。

②利用者支援関係

- ・利用者の施設利用等に係る各種手続きが適正に行われた。
- ・法人内の病院と連携し、利用者に新型コロナウイルスのワクチン接種を行った。
- ・居室替えを行うなど利用者の意向に寄り添った支援が実施されている。
- ・コロナ禍により地域や家族との交流が制限される中、施設内の行事を増やし、行事の写真や作品を展示するなど、利用者が日々の生活に潤いを感じられるような環境づくりに努めた。
- ・食事の提供については、令和2年度に引き続き、全国の料理や地元料理を取り入れた特別メニューの提供回数を増やす、事前にメニューの写真を掲示するなどの工夫を行っている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

利用者からの意見・要望については随時受け付けている。苦情については法人の苦情取扱要綱に基づいて対応しており、重要な案件については法人が設置している第三者委員会へ報告し、協議することとしている。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 市民アンケート

本施設は、身体障がいのある人が、入所及び通所する施設であるため、利用者が限定されており、広く市民一般を対象としたアンケートは実施していない。

(2) 利用者満足度調査

施設利用者及び利用者の家族に対して年1回満足度調査を行っている。入所利用者及び家族の満足度は73.8%であり、通所利用者の満足度は95.5%であった。利用者に対し、より高い満足度が得られるよう、アンケート結果を踏まえ、職員一丸となって利用者のニーズに寄り添った支援検討を重ねていただきたい。

4 指定管理者の経理状況の評価

通所及び短期入所の入所者は若干増加したものの、入所利用者の減少があり、収入は令和2年度から若干減少した。支出については、人件費に大幅な増加が見られ、事務費・事業費も増加しており、収支は赤字となっている。事務費・事業費は昨今の物価高騰の影響を受けていることも考えられるが、人件費については適正な人員配置による改善が求められる。

支出の増加要因の分析をするとともに、通所及び短期入所の利用者の増加を図り、安定的した経営に努められたい。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

施設全体の運営は、適切なび業務委託のもと、概ね事業計画通り実施されており、施設の保守・点検等も、必要な維持管理が適宜なされている。

新型コロナウイルス感染症対策は適切に行われている。コロナ対策により外部との交流が制限される中、利用者が満足して利用できるよう工夫した事業が行われている。利用者満足度調査においても良好な結果が得られており、さらに利用者の満足度を高めるよう職員一丸となった支援検討を重ねていただきたい。

収支状況について、令和2年度には黒字に改善されていたが、再度赤字となっている。安定した経営を目指すため、課題である利用者増について取り組むのはもちろんのこと、支出増の要因を分析し、経費の削減についても進められたい。

今後も利用者の意見等を随時取り入れるとともに市と協議を行いながら、良好な施設運営を維持していくよう努めていくこと。